

経済港湾委員会実地視察報告

令和2年8月21日に、経済港湾委員会が神戸市立須磨ヨットハーバー及び神戸市立博物館を視察いたしました。

神戸市立須磨ヨットハーバーは、昭和35年に海洋性スポーツの振興及び海洋思想の普及を図ることを目的に設立されました。JR 須磨海浜公園駅から徒歩約8分、大阪から車で約60分というアクセスの良さと陽光あふれる神戸の海、そして大阪湾を一望できるロケーションが特徴です。また、平成30年にはヨットハウス内にマリナカフェ「NORTHSHORE 須磨ヨットハーバー店」がグランドオープンし、連日多くのお客様で賑わっています。



神戸市立博物館は、以前からあった市立南蛮美術館と考古館が統合され、「国際文化交流—東西文化の接触と変容」を基本テーマに、新しい人文系の博物館として昭和57年に開館されました。昨年11月には、常設展である「神戸の歴史展示」の内容の充実、設備全体の快適性・利便性の向上や市内外からの集客力・注目度を高めることを目的にリニューアルが行われました。常設展示の他、分野・期間ごとにテーマを設定して館蔵品を紹介する「コレクション展示」や、内外から文化財を集めた大規模な展覧会も開催されています。

